

2020 年度 E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修 オンラインコース「教育評価の基礎講座」 実施の様子

教育学研究科教育実践コラボレーション・センター E.FORUM では、2020 年 9 月～2021 年 2 月にかけて、京都大学高等教育研究開発推進センターの協力のもと、KoALA(Kyoto University Online for Augmented Learning Activities)を活用したオンラインによる「教育評価の基礎講座」(全 6 回)を配信しました。

本講座では、2017・2018 年の学習指導要領改訂や、2019 年の指導要録改訂にあたって打ち出されている方針を紹介し、「資質・能力」、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)、「見方・考え方」といったキーワードの意味を読み解きました。また、教育評価の基本的な用語について説明するとともに、「逆向き設計」論に基づくパフォーマンス課題の作り方や、ルーブリックやポートフォリオの作り方や活用方法などについても解説しました。毎月 1 回のペースで 2 時間程度の講義を配信し、各回にミニテストを設け、理解度を測りました。学校現場の先生方や教育委員会関係者などを中心に計 266 名(うち団体申込人数 118 名)が受講されました。

各講義の講義名と担当者は次の通りです。第 1 回「2017・2018 年改訂学習指導要領の特徴」(西岡加名恵教授)、第 2 回「『目標に準拠した評価』の基本的な考え方」(西岡加名恵教授)、第 3 回「パフォーマンス課題の作成」(西岡加名恵教授)、第 4 回「ルーブリックとポートフォリオの活用」(西岡加名恵教授)、第 5 回「2019 年改訂指導要録のポイント」(石井英真准教授)、第 6 回「学校ぐるみの授業改善の進め方」(石井英真准教授)。

受講後のアンケートに対し、受講者の皆さまからは、次のようなご意見・ご感想をお寄せいただきました。

「今回の学習指導要領改訂にあたり、『主体的・対話的で深い学び』『パフォーマンス評価』『ルーブリック』『ポートフォリオ』等、言葉だけが独り歩きをして表面的にしか理解していなかった事柄が多くありました。しかし今回の研修で、実践例も交えながら丁寧に説明していただいたことで具体的なイメージが湧き、授業と評価について見直すことができたのが大きな成果でした。(中略)また、研修を受ける前は新しい授業や評価の形に抵抗や不安がありましたが、イメージが湧いたことで『私にもできるかもしれない』『このような形で実践してみようか』と希望やビジョンを抱くことができました。」

「来年度から観点別評価の試行を学校で取り組みます。そのために、観点別評価についての理解を深めるべく視聴させていただきました。いろいろな書籍や先進校への視察等を通して学んできましたが、この講座の視聴を通して、考え方が整理されました。実際、今年度1年を通して、新しい観点に則した授業実践やテスト等を実施してきましたが、この講座を通して多くのヒントをいただくとともに、足りない部分を自覚することが出来ました。」

「これまで経験をベースに構成していた授業について、研究された知見に基づいて見直すことができたと思います。また、学校の教員が全員受けているという前提があるため、『共通言語』ができたという安心感があり、校内研修や授業研究などをより積極的にしていけるのではないかと期待しています。また、評価や授業研究などがどれも『子供たちのためにある』という当たり前の点を再認識することができたのは大きな成果だと思います。研究授業ではどうしても他の教員にジャッジされている気持ちになってしまうのですが、子供たちの学びを豊かにするためにやっているという意識を持つことで、他の教員を『協働する』仲間として認識できそうです。」

「スライド(ハンドアウト)が非常に丁寧に作られていて見やすく、お二人の先生方のお話も大変わかりや

すく参考になりました。実践例が多く紹介されていたのもありがたく思いました。一言一言の字幕も付いていて、少し聞き逃した時もすぐに戻って確かめることができ、非常に良かったです。」

E.FORUM では、引き続き実践に役立つ知見を得られる、楽しくて元気の出る研修を提供していきたいと考えております。今後ともご支援のほど、よろしくお願いたします。

ホーム 講義 ディスカッション 進捗 シラバス 掲示板利用についてのガイドライン 講師

ブックマーク 検索

第1回：2017・2018年改訂学習指導要領の特徴

第1回構成

「資質・能力」の育成
 第1連問題 (1) 締切 2020年10月13日 23:30 JST

授業の改善
 第1連問題 (2) 締切 2020年10月13日 23:30 JST

学習評価の充実
 第1連問題 (3) 締切 2020年10月13日 23:30 JST

第2回：『目標に準拠した評価』の基本的な考え方

第3回：パフォーマンス課題の作成

第4回：ループブックとポートフォリオの活用

第5回：2019年改訂指導要録のポイント

第6回：学校ぐるみの授業改善の進め方

第1回：2017・2018年改訂学習指導要領の特徴 > 「資質・能力」の育成 > 「資質・能力」の育成 (1)

前へ 次へ

「資質・能力」の育成 (1) STUDIOでユニットを見る

この画面をブックマークする

「資質・能力」の育成 (1)

子帯の職初り。最後へ飛びまよ。

オンラインコース「教育評価の基礎講座」

1. 目的

第1日目 「2017・2018年改訂学習指導要領の特徴」 西岡加名 准教授

第2日目 「目標に準拠した評価の基本的な考え方」 西岡加名 准教授

第3日目 「パフォーマンス課題の作成」 西岡加名 准教授

第4日目 「ループブックとポートフォリオの活用」 西岡加名 准教授

第5日目 「2019年改訂指導要録のポイント」 石井英真 准教授

第6日目 「学校ぐるみの授業改善の進め方」 石井英真 准教授

※各日、1時間程度の講義と、ミニテスト(自動採点)で構成されています。

みなさん、こんにちは。
 オンラインコース「教育評価の基礎講座」を履修してください、ありがとうございます。
 私は、第1回から第4回の講義を担当いたします、
 京都大学大学院教育学研究科の西岡加名です。
 どうぞよろしくお願いいたします。
 本講座では、2017年改訂学習指導要

字幕
 SubRip (.srt) file をダウンロード
 Text (.txt) file をダウンロード

ホーム 講義 ディスカッション 進捗 シラバス 掲示板利用についてのガイドライン 講師

ブックマーク 検索

第1回：2017・2018年改訂学習指導要領の特徴

第2回：『目標に準拠した評価』の基本的な考え方

第3回：パフォーマンス課題の作成

第4回：ループブックとポートフォリオの活用

第5回：2019年改訂指導要録のポイント

第6回：学校ぐるみの授業改善の進め方

E.FORUMについて

第5回：2019年改訂指導要録のポイント > 指導要録改訂をどう読むか (前半) > 指導要録改訂をどう読むか (1-1)

前へ 次へ

指導要録改訂をどう読むか (1-1) STUDIOでユニットを見る

この画面をブックマークする

指導要録改訂をどう読むか (1-1)

に開く「リーニンググループ」の一員として
 今回の指導要録改訂の方針を定める議論にも参加いたしました。
 今日の講義では、
 国の政策と研究的な蓄積を関連付けつつ、
 今求められている評価の在り方を確認していきます。
 京都大学の石井です。よろしくお願いいたします。
 今回お話しするのは、
 文科省の「児童・生徒の学習評価の在り方について（報告）」
 というふうな文書が出されて、
 それの公式見解みたいなものを
 つらつらと解説するというふうな感じ
 と言うよりも、
 そこに加わった一人の教育研究者が

字幕
 SubRip (.srt) file をダウンロード
 Text (.txt) file をダウンロード